

1. アプリ起動

ProcessMining.exeをクリックし、アプリケーションを起動します。



2. 初期画面（データインポート画面）

アプリを起動すると、データインポート画面が表示されます。

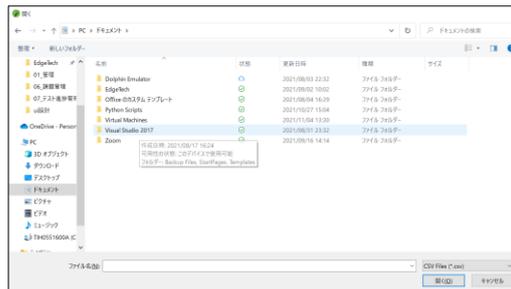
左下の「+データインポート」ボタンを押下した場合も、この画面が表示されます。



「ファイル選択」ボタンを押すと、エクスプローラーが開きます。対象のCSVファイルをインポートします。

インポート可能なデータは、csvファイルのみとなります。データの形式は、下記の通りです。

	カラム名	形式
1列目:	case_id	全角半角可
2列目:	activity	全角半角可
3列目:	timestamp	年-月-日 時:分:秒



1. ヘッダー名が「case_id,activity,timestamp」から始まること。
2. ヘッダー名がすべて半角小文字であること。

例えば

この場合は、読み取り可能です。

- case_id,activity,timestamp
- case_id,activity,timestamp,Material,UserID

下記の場合は、エラーメッセージが表示され、読み取りできません。

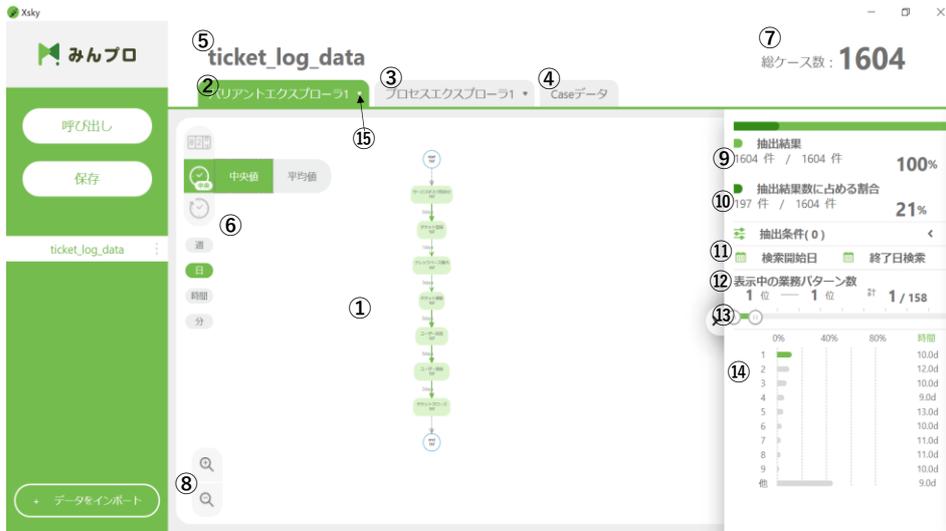
- × Case_id,Activity,Timestamp 頭文字が大文字
- × CASE_ID,ACTIVITY,TIMESTAMP 全て大文字
- × case_id,activity,timestamp 小文字であるが全角

サンプルデータを用意してありますので、そちらをご覧ください。

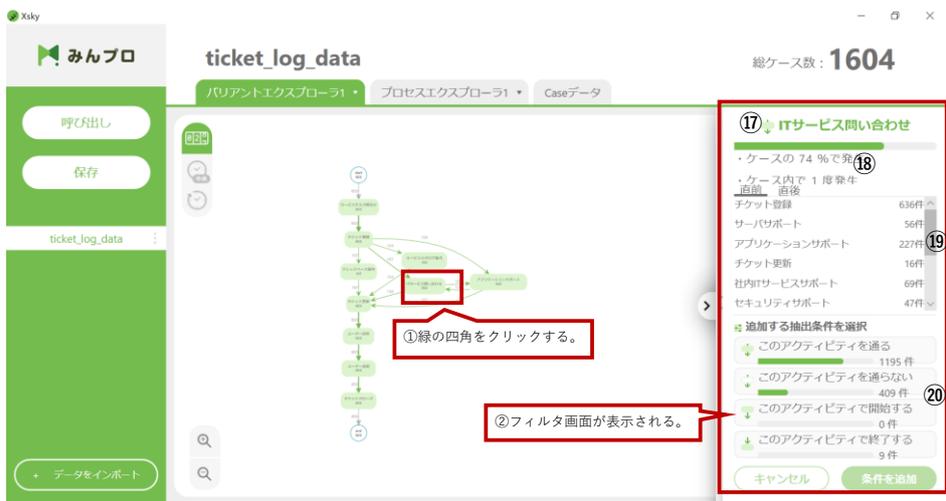
参照：データ名

3. バリエントエクスプローラー

CSVファイルを正常に読み込むと、バリエントエクスプローラー、プロセスエクスプローラー、CASEデータが参照できるようになります。



No.	項目名	内容説明
1	業務バージョン/プロセス表示領域	投入したデータをもとに、業務バージョン/プロセスが表示されます。
2	バージョン分析タブ	本タブの中で業務バージョン分析、時間分析を可能にします。
3	プロセス分析タブ	頻度分析を可能とします。
4	データタブ	読み取ったCSVデータ一覧で表示します。
5	データタブ名称	インポートしたデータの名称が表示されます。(初期表示は、CSV名称)
6	表示設定ボタン	件数、所要時間(中央値、平均値)、総所要時間の表示切替ができます。所要時間、総所要時間は、週・日・時間・分の表示の選択も可能です。
7	ケース数	データ集計後のケース数を表示します。
8	ズームボタン	+、-を押下することで、ズームイン、ズームアウトができます。
9	抽出結果	総ケース数に占める、選択しているケース数の割合を表示する。表示中の業務パターン数の選択した値/総バージョン数を表示する。
10	抽出結果に占める割合	抽出結果に占めるフィルタリングで抽出されたケースの割合を表示。フィルタリングで抽出されたケース数/表示中の業務パターンのケース数を表示します。
11	抽出条件一覧	フィルタリング機能で設定した抽出条件の一覧が表示されます。
12	日付検索	業務バージョンの日付の期間を指定できます。
13	表示中業務パターン数	同一ケースのパターンを順位表示しています。ゲージを操作し示しパターン数の増減ができます。
14	業務パターン一覧表示	業務パターンの割合と所要時間の一覧が表示されます。
15	分析タブの名前の変更/分析データの削除/エクスポート	分析タブをクリックして表示抽出した条件のcsvのエクスポートを行う。



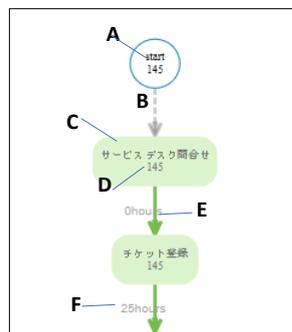
17	選択したアクティビティ名	選択したアクティビティ名が表示されます。
18	選択したアクティビティの割合	現在表示されているケースの中で、選択したアクティビティが発生する割合を表示します。
19	直前・直後のアクティビティ	選択したアクティビティの直前・直後に発生するアクティビティを表示します。
20	追加する抽出条件の選択	アクティビティにおけるフィルタリング(通る、通らない、開始、終了)ができます。選択後、「条件を追加」ボタンを押下することで、条件を満たすデータが再描画されます。

21	選択コネクション	選択したコネクション名が表示されます。
22	選択したコネクションの割合	現在表示されているケースの中で、選択したコネクションが発生する割合を表示します。
24	追加する抽出条件の選択	アクティビティにおけるフィルタリング(含む、含まない)ができます。選択後、「条件を追加」ボタンを押下することで、条件を満たすデータが再描画されます。

抽出条件を設定すると、抽出条件一覧に設定した抽出条件が表示されます。
右の「×」を押すと、抽出条件が解除されます。

図には、下記の情報が表示されます。

- プロセスの始めと終わりを意味します。
- スタートから延びる矢印は、点線で表記されます。
- 各教務（アクティビティ）の名称が表示されます。
- Cのアクティビティを行った件数が表示されます。
- 各業務間の矢印（コネクション）は、実線で表記されます。
- あるアクティビティから次のアクティビティにかかった所要時間が表示されます。



みんプロ ticket_log_data 総ケース数: 1604

呼び出し 保存

ticket_log_data

データメインポート

プロセスエクスプローラ

Caseデータ

サービスデスク問合せ

チケット登録

このコネクションを含む 1604件

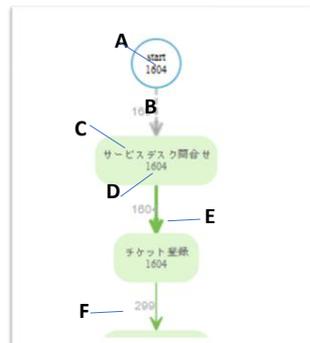
このコネクションを含まない 0件

キャンセル 条件を追加

20	選択したコネクション	選択したコネクション名が表示されます。
21	選択したコネクションの割合	選択したコネクションが発生する割合を表示します。
22	追加する抽出条件の選択	コネクションにおけるフィルタリング(含む、含まない)ができます。選択後、「条件を追加」ボタンを押下することで、条件を満たすデータが再描画されます。

図に表示される内容は、

- A. プロセスの始めと終わりを意味します。
- B. スタートから延びる矢印は、点線で表記されます。
- C. 各教務（アクティビティ）の名称が表示されます。
- D. Cのアクティビティを行った件数が表示されます。
- E. 各業務間の矢印（コネクション）は、実線で表記されます。
- F. コネクションの件数を表示します。



5. Caseデータタブ

インポートしたデータを一覧で表示します。

みんプロ ticket_log_data 総ケース数: 1604

バリエーションエクスプローラ1 プロセスエクスプローラ1 Caseデータ

case_id	activity	timestamp
IT0028	サービスデスク問合せ	2020-01-01 12:11
IT0028	チケット登録	2020-01-01 12:21
IT0028	ITサービス問い合わせ	2020-01-01 13:14
IT0065	サービスデスク問合せ	2020-01-01 15:05
IT0028	社内ITサービスサポート	2020-01-01 15:10
IT0065	チケット登録	2020-01-01 15:13
IT0065	ITサービス問い合わせ	2020-01-01 18:10
IT0062	サービスデスク問合せ	2020-01-02 09:36
IT0062	チケット登録	2020-01-02 09:46
IT0062	サービスサポート	2020-01-02 10:40
IT0060	サービスデスク問合せ	2020-01-02 11:52
IT0060	チケット登録	2020-01-02 12:00
IT0010	サービスデスク問合せ	2020-01-02 15:24
IT0010	チケット登録	2020-01-02 15:31
IT0054	サービスデスク問合せ	2020-01-02 15:49
IT0054	チケット登録	2020-01-02 16:03

Total: 12486 lines

First << 1 2 3 4 5 6 >> Last

6. 保存・呼び出し機能

インポートしたデータの保存ができます。

※現在は抽出条件の保存ができません。

みんプロ ticket_log_data

抽出条件の保存

抽出条件名
ticket_log_data

キャンセル 保存

保存ボタンを押下すると、「抽出条件の保存」画面が表示されます。

名前を指定して、保存ボタンを押すと現在の表示されているデータが保存されます。

みんプロ ticket_log_data

保存データの一覧

名前	日時	アクション
<input type="checkbox"/> テスト1	21/01/2022 16:41:12	開く 削除
<input type="checkbox"/> テスト2	21/01/2022 16:42:28	開く 削除

開く

呼び出しボタンを押下すると、保存したデータの一覧が表示されます。

呼び出したいデータのチェックボックスにチェックを入れ、「開く」ボタンを押すと、保存したデータを呼び出すことができます。

保存データ一覧上で、保存データの名前の変更や、削除が可能です。